



第18回写真コンクール 優秀賞「秋色の涸沢」中川隆司氏（株勝間田工業）

い・し・ず・え

沼津建設業協会
広報誌

編集・発行
櫻沼津建設業協会
広報青年委員会
沼津市御幸町17-12
電話(055)932-8311
<http://humazukenkojo.jp/>
発行日 隔月1日

「年金を食いつぶすイナゴの大群」とポスト団塊の世代から疎ましく思われている団塊の世代も、二〇〇七年問題を憂慮しつつ定年を迎えるとしている。

一九四七年～一九四九年生まれと定義される団塊の世代は現在七〇〇万人弱。昨今の新生児の数が一〇〇万人強と言われるからいかにその人数の多いことか。

団塊の世代は、「後進国に生まれ、中進国に育ち、先進国で仕事する」と「戦後若者文化の光芒」岩間夏樹著に記されているが、戦後の生活の大変だったことは記憶に薄く、園児から学生になるころ、もう日本は中進国になっており、社会に進出したころには、すでに先進国に仲間入りしているらしい。

団塊の世代は、猫の目のように変わったが、意図は横並

た責任の一端を心の中では痛切に感じている。

野帳 団塊世代のつぶやき

「平凡パンチ」を愛読し、アイビーファッションに身を固め、ビートルズに熱狂し、フォークソングを歌い、コンバで酒を飲み、ダンバで青春を謳歌してきた団塊の世代は、熾烈な競争社会で育つたわりには、どうも威儀のある親、頑固親父に成りきれない。そしてその子供達団塊ジュニアをニートやフリーター、そしてバラサイトに育ててしまつた。

ITと本格的に直面する最初のシニア世代となるはずの団塊の世代も、ホリエモン風のさめた若者達、自分たちの理解の範疇をはるかに超えたITを駆使する新人類には、全くと言って歯が立たないようだ。

にあつた。

びになる教育（修学旅行は制

服で金閣寺や日光の団体旅行）を受けた結果、数が多いわりにはキャラクターに乏しいと指摘される。

ITと本格的に直面する最初のシニア世代となるはずの団塊の世代も、ホリエモン風のさめた若者達、自分たちの理解の範疇をはるかに超えたITを駆使する新人類には、全くと言って歯が立たないようだ。

二〇一〇年には、団塊世代関連市場は一〇〇兆円を超えるらしい。地域に密着した真にゆとりのある生活文化を肩の力を抜いて築いてゆくことが、この世代のやり残した仕事を自覚して、くれぐれも「定年後犬も嫌がる五度目の散歩」とならぬよう心の準備を進めゆきたいものだ。

未来に向けて

第73回

二〇〇七年問題 ～団塊の世代の一斉退職～

第二次世界大戦直後の日本において、一九四七年から一九四九年にかけて生まれた世代は「団塊の世代」といわれ、六十歳を定年とすると今年度末より三年間の一斉退職に伴い発生が予想される問題を指すが、どの様な問題があるのだろうか。

まず企業として、企業活動の根幹部分を支えてきた専門的知識や技能を有する人材が一斉に会社を去ることにより、マニュアル化しづらい現場固有の技術の継承が困難になる恐れのみならず、それによって企業活動自体が停滞する恐れがあるとされる。特に製造業（建設業）では、職人的作業や機械化が困難な作業が多く危機感が強いが、対策として意欲と技能を兼ね備えた有用な人材を雇用期間の延長、定年延長よりも嘱託など再雇用等で臨む他企業等の退職者の獲得などが考えられる。

プラス面として期待するの

退職金によって個人消費が活性化し、一大消費市場が発生するといわれていることから、建設業の新分野進出について考えた場合、この団塊の世代の存在を無視してはいられないだろう。そこでこの「団塊の世代」について考えてみたいと思う。

特徴

世代別人口が最も多く、その直前の世代が太平洋戦争の影響で出生が極端に少なく、急激に出生が増えたことから同世代の競争が激しく、青年期を迎えるころには、他の世代に比べてとりわけ自己主張が激しくなったとされる。その反面「平等」に強いこだわりを持つともされる。

思春期に日米安全保障条約

に反対する大人たちの闘争を見ており、また、戦争についても両親や周りの人間から悲惨さを語られ、文字どおり戦後教育を受けた世代であり、戦争に関連することへ強烈な拒否反応を持つ傾向がある。

団塊の世代

もたらしたもの

あるデータによると定年後

学齢期はその膨大な人口が他の世代と比較して目立つたため、幼い頃から学校はすし詰め状態となり、教室不足を招くほどで、学校で知らず知らずに競争を繰り広げ、青年期には都市部の一部の若者はそ

も働きたいと考える人は約七十五%おり、定年後も自分の能力や経験を活用したい、社会に積極的にかかわりたいと考える人が多いことから、企

業として現在の賃金水準を上回ることなく、高度な技術や

長年の経験としての熟練された作業などを獲得できる事が期待されるであろう。また、人口の多さから退職給付金等による消費活動にも期待がもてるところである。

日本の高度経済成長を支えてきた団塊の世代の引退は、企業にもマーケティングにも大きな影響を与えることは確かなようである。

九〇年代に入ると折からの不景気と年功序列制度による既得権益化した高賃金で、日本企業の収益性は大きく損なわれ、若年層の大規模な就職難の遠因ともいわれている。



団塊の世代への期待

も働きたいと考える人は約七十五%おり、定年後も自分の能力や経験を活用したい、社会に積極的にかかわりたいと考える人が多いことから、企

特別寄稿 「水の惑星」

生命の営みのある地球環境を考える(63)

環境カウンセラー 保坂貞治

【三】問題5

(7) 環境汚染が問題化する

アメリカのフロリダ半島の湖沼に棲息するワニが急激に減少を始めた。七年間で九十パーセントも減少している湖もでてきた。フロリダ大ルイス・ジレット教授の研究で雄の性器が正常の雄の二分の一のワニが八十五パーセントも止められた。

日本でも日本海特産巻き貝の一種バイガイが十数年前より減少を始め、近年全く獲れなくなつた。原因は、バイガイの雌が九十パーセントも雄化していた。原因物質は、船に塗る塗料の中に入れた有機

スズであった。有機スズは、養殖ハマチを飼う漁網にもかつて使われていた。漁網に力いや海草の稚貝等が付着し、一週間もすると漁網一杯になり、養殖池の海水の循環がされず、養殖ハマチは酸欠のため死んでしまう。漁網に有機スズを含ませた塗料を塗るとカイや海草の繁殖を防ぐことが出来るので、養殖用の網に塗っていたのである。一九六〇年代には養殖ハマチに背曲

がりが出てきて大騒ぎとなつた。この原因が有機スズであった。この原因が有機スズである。

米国のテオ・コルバーン女

史の研究によると、P C Bボリ塩化ビフェニールやダイオ

キシンの汚染物質は、胎内に蓄積しホルモン系に作用して、人類や動物の生殖機能に異常を起こしていると警告した。男性の精子に減少が見られ、通常精子が一cc当たり一億個いたのが最近は六千万個に減少していた。また、不妊や子宮内膜症で排卵はするが受胎出来ない。雄の性器が正常よりも小さくなっている。鼓膜の異常、発育障害、胎児に奇形や早産、流産を起こしたり、免疫機能(呼吸器疾患)に作用し、癌や奇形を起こす。三歳児の三十一・二パーセント

がアトピー性皮膚炎の既往症があると報告されている。近頃まで水と空気は膨大な量で防ぐために塗る塗料の成分が、海水に溶けワニや魚貝類の生態に影響を及ぼすとは考えもしなかつた。

日本で日常生活で排出する一般廃棄物が年間約5千万トンあり、国民一人当たり四〇〇キログラムとなる。東京ドームの一三五杯分となる膨大な量となっている。産業廃棄物は年間四億トンで一般廃棄物の約八倍になっている。これら廃棄物は焼却処理の過程でダイオキシンが発生するので、新たな環境問題となつた。

ダイオキシンは農薬等に不純物として混在している。有機塩素系の成分を含む物質や製品を三〇〇度程度の温度で燃焼する過程で、燃焼反応で副次的に生成する。厳密には

するのである。木材の発火点が四〇〇～四七〇度であるから低温度の焼却施設で発生する温度であるわけである。

ダイオキシンの発生は大きく分けて五つある。①ゴミ焼却に伴い発生するもの②製鉄や金属精錬の工程で発生するもの③バルブの漂白工程で発生するもの④自動車の排ガス中に発生するもの⑤農薬やクロロフェノール等の化学薬品、これ等の精製、処理工程の過程で発生するもの。原因是これら製品に含まれる塩素であると考へられ、塩素を燃やすと発生する。ゴミ焼却で発生するのは、ゴミの中に塩素が混じっているからであり、自動車の排ガスはディーゼル車が問題にされているが、エンジン内の燃焼がダイオキシンを発生させている。煙草の喫煙でも発生していると言わ



雑誌「道路」昭和六十二年四月、
「隨想、本というもの」

巖谷大四氏、文芸評論家、
日本文芸家協会副理事長から

戦争直後の日本人々は、活字に飢えていた。食べる物はろくに無いというのに、腹の足しにならない本を皆が先を争つて買い求めた。

本は、精神の栄養源として、心の糧としてなくてはならないものだということを心底から思った。

現代は、飽食の時代と言われる。それは肉体の糧ばかりでなく、精神の糧にまで及んでいる。日本は、世界でも一、二を競う出版王国となり、巷に本が氾濫している。

ところが、この頃は、活字ばかりしている若者が多くなっているという。

数年前（一九八二年頃）評論家の中村光夫氏が、新聞にこんなことを書いていた。

「現代人は、かつての人々が夢想もしなかった多数の、しかも雑多な内容を持つ書物に接するため、読書の態度をある真剣な精神的作業から、逆に、なるべく精神の疲労を省いて、時間をつぶすに適した、一種の娯楽に似たものに変じつあるのではないか。昔の人々にとって、読書とは、小数の友人と親身につき合うようなものであった。現代人は、読書は、職業の必要上多数の知人を作りに似ている。」

あんまり沢山本が出るので、本は、ただ娯楽のため、便宜のため、本質的な違いは、こちらから進ん

何か仕事の役に立てるため、できるだけ手軽に読めるものを買い求める風潮になってきた。私は、本を読むことを、自分なりに三つの種類に分けている。

一、教養、修養のための本

つまり、精神の糧となるインスピレーションの本。

二、知識を得るための本

学問的、専門的な書物で、教科書や辞書などインフォメーションの本。

三、娯楽のための本

感情充足のための書物で、つまり、レクリエーションの本。

古雑誌の隨筆（その四十八）

後藤貞一



第三の場合は、文字通り慰安、娯楽のためで、血となり、肉となる

私は、昭和十五年に大学を卒業し、文芸家協会の書記になった。

その時の書記長が、亡くなつた初代文化庁長官になつた今日出海氏

徒然草には、こんな言葉がある。

「独り、灯の下に、書を広げて、見ぬ世の人を、友とする。」これ

が最上の慰めである。

哲学者の三木清氏は、「古今東西の全ゆる優れた人に接することができるというのは、読書における大きな悦びだ。」と言っている。

ラジオを聞いたり、テレビを見たりすることと、本を読むことの

間にかく、本は読むべきだよ」と

で出向いて行くか、もっぱら受身になつてゐるかであるが、人が精神の栄養を吸収するということは、アクティブな行為であると思う。

ラジオやテレビは、インフォメーション（第二の分類）、レクリエーション（第三の分類）の役割は果たしてくれるが、インスピレーション（第一の分類）ということになると、やはり、読書には到底及ばない。

本というものは、ただ無心に眺めれば、紙に印刷された活字の羅列を一冊に綴つたものに過ぎない。

本というものは、ただ無心に眺めれば、紙に印刷された活字の羅列を一冊に綴つたものに過ぎない。

本というものは、ただ無心に眺めれば、紙に印刷された活字の羅列を一冊に綴つたものに過ぎない。

本というものは、ただ無心に眺めれば、紙に印刷された活字の羅列を一冊に綴つたものに過ぎない。

本当にそうだと思う。

料理のようなものである。味はいいし、食は進むし、よく身につく。

毎食が楽しみで、飽きることがない。

読書による情報は、手づくりの

料理のようなものである。味はいいし、食は進むし、よく身につく。

わし、すぐに飽きがくる。

品のようなものである。味が画一的で、まずいだけではない。消化

吸収もよくない。ときには体をこわし、すぐに飽きがくる。

「テレビやコンピュータの与えてくれるものは、インスタント食

の中でこんな風に書いた。

城山三郎氏は、「私の読書」の人が友とする喜びを説いている。

中でこんな風に書いた。

「テレビやコンピュータの与えてくれるものは、インスタント食

の中でこんな風に書いた。

本というものは、情報伝達の手段の一つだが、最近は情報収集・情報整理の技術の発達に伴い、情報の価値が非常に高まり、社会・経済・政治を動かす大きな力になり、情報洪水の様相を呈している

が、情報の価値は、その内容によって大きな差がある。紙一枚の情報の中に、人を心の底から振り動かすような名文がある。また、膨大な資料を積み上げた、国家を動かす情報もある。

情報は、有償であるという認識は、わが国の多くの人に薄かつた。

最近になって、やつとその考え方方が変わつて、情報の価値を認める方向へ進み、情報産業が次々と誕生するようになつてきた。

テレビやコンピュータ、或いは電話の発達によつて、情報伝達の手段は大きく変化し、活字の相対的地位は低くなつてゐるが、まだ

まだその存在は大きい。

本というものが、この先どのよう

うに変化していくのか予測もできないが、情報取得の手段として上手につき合つていく工夫が、重要な課題になつてきているように感じた。

言われた。

私は、この言葉が身にしみた。

社会に出ると本を読まなくなることを、それとなくいましめてくれたのだ。以来、私は、今日までそれを実行している。

静岡探検俱楽部

第二十八回 通行止の道をたどる…

大入渓谷・みどり湖(佐久間町・豊根村)

文 井下 秀文

年中通行止めという変わった県道がある。遠州の最奥佐久間から三河の最奥豊根を結ぶ愛知県道四二九号線・古真立佐久間線である。地図で見ると「大入渓谷」と書かれているくねった川沿いの細い道だ。アユ釣りで有名な大千瀬川に流れ込む大入(おおにゅう)川沿いになる。上流は新豊根ダムでせき止められたみどり湖だ。

地図で見る限り渓流に沿ってうねうねとくねつていて、貧弱な道路にダイナミックな山岳風景が展開しそうで面白そうだ。それでも年中通行止めとはどういう状態なのだろう。気になる。

今回はこの通行止区間を自転車でたどってみた。起点はJR飯田線浦川駅。製材の香り漂う小さな町を抜け、大千瀬川に沿うとすぐ大入川の合流点。



▲通行止表示。今回の地図の代用とします。年の数字を替えて使っているのだろうか。



▲きれいな渓谷沿いの気分のいい道。



▲静かなる新豊根ダムとみどり湖。

大入渓谷方面へ分岐の橋を渡りトンネルをくぐると、すぐ通行止めの車止めがある。釣りのクルマが数台止めている。通行止区間はここから十一キロ、みどり湖までは十三キロである。

すぐに短いトンネルを抜けるとゲートがある。二輪車なら通過できる空間がある。

川の清冽なこと。エメラルドグリーンに澄んだ水を渾々と貯め、魚の群れが見通せる。とてもダム下流の川とは思えない。そもそものはず、新豊根ダムは発電のためのダムで、これまでに二回しか放流していないそうだ。新豊根ダム湖と佐久間ダム湖は互いに太い管でつながっていて、昼間は佐久間側に水を流して発電し、夜間は発電の逆を行い、タービンを電気

の山々の水を集めているのだ。さて自転車を進める。道は川に沿つたゆるい登りだ。幅は一・五車線。通行止めでクルマが通らないので、落ち葉や浮き砂利が多い。落石も頻繁にあるようだが、補修も行なわれていて、道の管理は一応されている模様。渓谷を見下ろし、左右にカーブすることに、水面がだんだん遠くなり、鬱蒼とした木の間越しに谷を

走り坂が急になって、最後の大入トンネルが現れる。真っ暗で登り坂で300mの長さがあるので、平衡感覚が鈍り自転車が思わずよろける。ようやくトンネルを抜けるとそこはもう新豊根ダムだ。正面に堰堤があり、右奥にみどり湖が複雑な形で広がっている。管理棟に数台のクルマがあるだけで観光の人は誰もいない。豊根村の集落は広い湖の反対側なので、周囲は無人地帯の静けさである。

みどり湖が複雑な形で広がっている。管理棟に数台のクルマがあるだけで観光の人は誰もいない。豊根村の集落は広い湖の反対側なので、周囲は無人地帯の静けさである。こういうダムにいると不思議な気分になる。自然の中で人工物の雄大さを感じるというのではなく、SF的な無機質さが胸に迫るのである。

で回して水を汲み上げて豊根側に戻すことをやっているそうだ。だから双方のダム湖は、水が往復するばかりで透明度の低い濁った色をしている。つまり大入渓谷はダムより下の山々の水を集めているのだ。

途中カブの荷台に鉄砲を乗せたおじさんとすれ違った。約一時間半登って、上流側の通行止めゲートを通過するとひとしきり坂が急になって、最後の大入トンネルが現れる。真っ暗で登り坂で300mの長さがあるので、平衡感覚が鈍り自転車が思わずよろける。ようやくトンネルを抜けるとそこはもう新豊根ダムだ。正面に堰堤があり、右奥にみどり湖が複雑な形で広がっている。管理棟に数台のクルマがあるだけで観光の人は誰もいない。豊根村の集落は広い湖の反対側なので、周囲は無人地帯の静けさである。

見る格好になる。この川が刻む山襞は深い。見慣れない植物も多い。しかし山の上をよく見ると高压電線があり、無人地の大構造物の連続に違う和感を覚える。



「がらだづくりの教室」便り (20)

宮本摩知



皮膚を育てる・鍛える・ほぐす

サージと、乾布摩擦ではないでどうか。

寒くなると、皮膚がかさかさに乾き赤くなったり、痒くなったり、乾いた皮膚がかちかちに硬くなってしまうこともあります。痒みが冬の間ずっと続く人もいると聞きます。

長い間ですから大変な我慢をしなくてはいけません。寒さとともに空気が乾燥し、身体もどんどん乾いていくのです。そして乾いた身体は冷えやすいのです。冷えて乾き、乾いて冷えて、そして暖房を使い始めるとまた乾き、悪循環です。乾くと咳や鼻水が出始めます。

流れを止めないで上から下へ、下から上へ
同じスピードで掌全体でささります。

つまり咳や鼻水は水が足りない現象なのです。
熱い汁物や水の補給を心がけましょう。この時期は身体にしみ込むように、少しづつ



流れを止めないで上から下へ、下から上へ
同じスピードで掌全体でささります。

マッサージはボビュラーな
のですが、ここでは普段と少し違うと思われるやり方でや
ってみましょう。

腕は外側は肩から指に向か

り、自分の力を目覚めさせ、それは集中力となり底力となつて、生き、素晴らしい原動力となるのです。

ワンポイント アドバイス…

塩や重曹をひとつかみ入れたお風呂も身体が温まります。
お風呂に入りながらコップの水をちびちび飲むと水分の吸収が良いです。

不要な物質が皮膚から捨てられているのです。乾布摩擦をすれば、その排泄された物質(汚れ)が落ち、皮膚から取り除かれ、清潔になります。

力で揉んだりほぐしたりはしません。呼吸と流れをつかみます。脚は外側は上から下へ(太腿から膝を経由して足首へ)、内側は下から上にで

す。これは免疫力を高めることになるでしょう。気持ちが良いし、適度な運動にもなり、余分な皮脂も落ちて体重も減ることにつながるでしょう。代謝が良くなり、身体の持つ本

脚をさする掌も力は入れません。肌が動かないやさしく掌を滑らせます。十
二回やれば血液も気の流れも良くなります。やさしいマッサージなので疲れなくてうれしいです。

高齢の方にも適している簡単
な方法だと思いますので、親子、兄弟、孫と一緒に行えば良いコミュニケーションになりましたか。

おいしく水が飲めて、食事もおいしい、毎日が楽しい、
というように生きることの基本が乾布摩擦の習慣だけでも

マッサージはボビュラーな
つた流れで、内側は、指から
上に向かつた流れでゆつくり
と呼吸に合わせて掌全体を使

御厨の古今(9) 富士の卷狩の遺跡と伝承

(1)

勝間田 秀彦

御殿場市周辺には、源頼朝の富士の卷狩にちなんだ地名や遺跡が多く残されている。その由来は「駿河史料、駿河記、駿国雑誌」や大正三年に出されている各村の村誌等に記されている。こうした地名などは地元の人々が代々語り伝えてきたもので、なかには文献に載らないものもあつたり、また正確な場所がわからなくなつたもののその由来だけが長年語りつがれてきたものも少なくない。

鮎沢川周辺に伝わる遺跡と伝承

狩渡戸橋	(深沢)
駒蹄石	(深沢)
仁田の田	(鮎沢)
千貫	(鮎沢)
舞台	(鮎沢)
御所	(鮎沢)
和田	(鮎沢)
瘤塚	(鮎沢)
木家	(鮎沢)
狩家	(鮎沢)
鞠子川	(鮎沢)
沓間と的場	(鮎沢)
和田道	(鮎沢)
西田中八幡宮	(鮎沢・二の岡)
馬蹄石腰掛石	(西田中)
飯米場	(清後)
西田中八幡宮	(山之尻)

一、狩渡戸橋
深沢から東山へ、途中御殿場線を渡るとすぐ鮎沢川に架かる橋が狩渡戸橋である。地元ではこの辺りを「カリヤンドウ」と呼んでいる。健久四年(一一九三)五月八日、源

頼朝は畠山重忠・和田義盛・

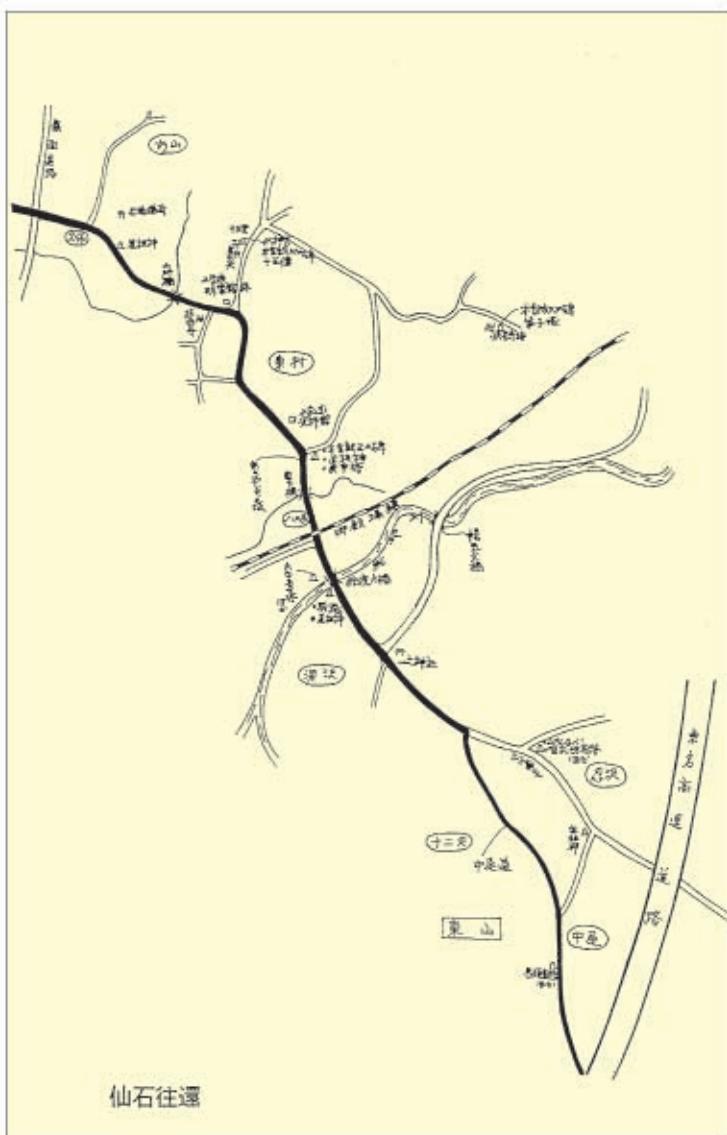
雨入りしていた鮎沢川は驚くほど増水していた。頼朝の側近數人はすぐに付近の百姓家に飛んで、戸板をはずし、それを橋のよう並べると頼朝は悠然と戸板の上を渡つていったという。此の橋を誰言うことなく「狩渡戸」と呼ぶよ

うになり、小字名として現在にいたつている。

二、駒蹄石
狩渡戸橋の南側にある石で、石の正面にちょうど馬のひづめで削つたよう跡が十数個見られる事から、昔から頼朝の乗つていた馬のひづめの跡だといわれている。この駒蹄石のすぐ近くには道祖神や観音様が祀られていて、毎年一月十四日はオンベ小屋が作られる。

(次号につづく)

仙石往還



言いたい放題

今年の夏の第八十八回(二〇〇六年)全国高校野球選手権静岡大会は、二年生ながら勝負強さを見せつけた一六五センチと小柄な左腕投手・大野健介選手の活躍があり、静商が三十二年ぶりに九回目の甲子園切符をつかみ、オールドファンを喜ばせたが、甲子園大会では残念ながら二回戦で敗退してしまった。

今から三十七年前の第五十回(一九六九年)大会の静岡代表は、前年に統いて静商がなった。静商は前年決勝戦まで勝進み大阪・興國に一対零で惜敗しただけにその期待は大きかった。静商は二試合で八打数、六安打、五打点の主砲・藤波行雄選手(のち中日)の活躍もあり順調に準々決勝へ勝進んだが、優勝への夢は松山商に敗れて消えてしまった。松山商・井上明投手(現在朝日新聞東京本社勤務)



は、「静岡商との準々決勝が最大の難所と捉え、特に藤波封じに全精力を傾け、徹底したカーブ攻めが成功し勝つ事ができた」と試合後、勝利の感想を述べていた。

この年の決勝戦は、北奥羽代表(青森・岩手)の青森・三沢と松山商が対戦した。三沢は前年夏から三季連続出場し、エースの太田孝司投手は、ロシアの血を引く甘いマスクも相まって甲子園大会の人気的だった。大会前に三沢が決勝進出すると予想した人はいなかつた。しかし三沢は準決勝まで四試合を戦い、強豪校の明星や平安等と対戦し

夏の甲子園大会が始まるときを超えて必ず語り継がれる秘話「永遠の名勝負」の決勝戦となつたのである。

去年の夏は、「津軽海峡越え」の歴史的快挙を超えて北海道代表・駒沢苦小牧が甲子園二連覇を達成した。今年の夏は、早実が七十三年ぶりに中京商に並ぶ大会三連覇を狙つた駒沢苦小牧を見事に破り、悲願の夏初制覇を達成した。その中で早実の斎藤祐樹投手

たが、すべて一点差の接戦を勝利した。

今思ひ出してみても日本が高度成長時代を掛け抜けた一九六〇年代最後の年、六九年夏の甲子園決勝戦松山商対三

は、「静岡商との準々決勝が最も優勝は、病と闘つている王先輩への在校生からの最高のプレゼントとなり本当に良かった。

もし第五十一回(一九六九年)大会の決勝戦がタイムスリップして今年だつたとしたら松山商・三沢や井

に仕留めドラマを締めくく

った。王貞治監督の母校実の優勝は、病と闘つている王先輩への在校生からの最高のプレゼントとなり本当に良かった。

ここには建設会社が数十社に数が少なくなった工事現場、みんな頑張っているなあと感じています。

この露天風呂のある山を越えてと神奈川県。こつちだと広いし、また違う人生観になるのかなあなんて思つたり。

空を見ると、入道雲がもくもくと広がつていて楽しい気持ちになつたり……。

今度、車で街を走るとき、スピードを落としてゆっくり運転でもしてみようかななんて思つてみても、それは無理。

ならばそつだ! このちつ

ちやな駿河の範囲なんだから

ちょっと元気に。

「よつしやあ! 明日から

また頑張つてみるかい」と、いい気分転換になつているよ

うだ。



(株)高田工務店
池田博之

僕の好きな場所

屋上露天風呂で富士山を背

に駿河湾を望みながら、ふと

想いました。

僕はこの土地に生まれ育ち、いつもこの山々に囲まれた範囲で動いているんだなあと。

そこは露天風呂から眺めると





●現場代理人の声

(株)土佐谷組
山岡 健一

感いたしました。

先日、工事説明のために数日をかけて現場内の各家庭を回っていた時に、「○○さん

に話は聞いていました、家の番はいつかと待っていました。地域住民の交流がまた生きていているのだと実

私は、現場代理人の仕事とは、「人と人との橋渡しをする仕事ではないか」と最近考るようになります。発注者の考えを地元住民の方や元請である自社の人間に伝えたり、逆に地元住民の意見を発注者に伝えたり、自社の考え方を下請企業に伝えたりする。

もしこのときに正しく伝わらないと、お互いに誤解が生じ、地元住民や下請企業からの協力が得られなくなり、工事全体がうまく進まなくなることもある。そんな重要な仕事なのではないかと考えます。

しかし、現在の情勢は、全国的に工事量が減り、且つ、工事単価が下がっている為、「より安く、より早く、効率よく作業をしよう」と考え、「地元住民の意見ばかり聞いていては仕事がはからない」、「下請けの能率よりも進捗率のほうが大事だ」などという考えに陥るおそれがある。

私はそうならないよう、作業員、地元住民わけ隔てなく挨拶をするよう心がけています。全ての交流はそこから始まると思います。地域住民の交流の中で、「あそこの人たちは挨拶もしない。」といわれ始めたら円滑な工事は出来ないと思っています。ただ私は、そのまま長いおしゃべりに入ってしまうのは……直そうと思っています。

私の余暇 At one's leisure

(株)寿組
小澤 仁



手くらいだ。出発して一時間半、車は大きなカーブを曲がりかけた。すると、今までダラけていた車内がいきなり盛り上がる。「うおー、早く車止めろ！ 早くしろバカ！」僕らの後ろには御前崎灯台、

前には台風のウネリを拾った波が広がる。三角形の大きな波にはすでに何人かのサーファーたちが群らがっている。僕らも急いで着替え、板を担ぎ、車を乗り換えて高速に乗る。無言の車内、寝ている者、マングを読む者、お菓子を食べている者、まともなのは運転

平日よりも三時間も早く起き、重たい瞼をこすりながらいつも集合場所へ。眠気のあまり、死人のようになった仲間たちと「おはよう」の挨拶、車を乗り換えて高速に乗る。車内、寝ている者、マングを読む者、お菓子を食べている者、まともなのは運転

るのがかつたるいが、こんな日は別だ。目の前に大きな水の壁が迫る。太陽の光をあげて、キラキラ光っている。頭の中もキラキラ。思わず叫んでしまうほどだ。波の斜面を滑り落ちる横に見えるのは水の壁、ずーと先まで続く壁、その壁を横目に水しぶきを上げながら前へ前へ……世界中のサーファーたちが最も好きな瞬間、何もかも忘れてその時間にのめり込む。ふと気づくと遙か沖から特大サイズの波がやって来た。巨大にそそり立つた波が僕の上に覆い被さる。ドッパーン!! 天然の洗濯機に巻かれながら僕は思う。「今夜のビールは美味そうだ……」

僕らも急いで着替え、板を担ぎ、車を乗り換えて高速に乗る。車内、寝ている者、マングを読む者、お菓子を食べている者、まともなのは運転



家族がみた 父親像

(株)河西建設
渋谷己千夫氏(娘)
渋谷智子

小さい頃から、朝早く仕事に出かけ、夜遅く帰ってくるお父さんは、すれ違いの生活が多く、会話も少なかったように思います。土曜日も夜に帰ってきて、ビールを飲んでガーガーといひきをかきながら寝てしまう。幼いとき、そんな姿を見て「だらしない

小・中学校のとき、父親参観などの行事には、忙しい合間を縫つて必ず出席してくれたお父さん。いつもと違うスースツ姿は「どう無くぎ」となくみえ、白いYシャツは、友達のお父さんたちより口焼けしたその顔をより一層黒く見せていました。

そんなスースツ姿で、ちょっと遅れて、照れくさそうに教室に入つてくる姿を今でも忘れません。それでも、来てくれたことに、今ではすく感

なー。」と思う反面、「毎日、昼間どんな仕事をしているのかな。」と考えていました。でも、たまに宿題を教えてくれました。わからないと」「うでも、「ちょっと待つて。」といつて、別の部屋で一生懸命調べてから、説明してくれました。そんなちょっと見栄つ張りで、恥ずかしがりやで、やさしいお父さんを本当は心の底から頼りました。

小・中学校のとき、父親参観などの行事には、忙しい合間を縫つて必ず出席してくれたお父さん。いつもと違うスースツ姿は「どう無くぎ」となくみえ、白いYシャツは、友達のお父さんたちより口焼けしたその顔をより一層黒く見せていました。

今年の夏で九年の付き合いになる私の愛車。3000cc・インターフレーテーボディ・ゼル・4WD。嫁さんは維持費がかかるし、音がうるさいと不評な私の愛車。しかし独身当時はRVブーム絶盛期で、こいつと一緒にならナ○バは無敵でした。そんな時代

謝しています。

そんなお父さんだから、進路など重要な事を決めるときには、お母さんよりもお父さんに相談していました。「自分したいことを最優先に考えて、決めるようにしな。」といつも同じアドバイスしかくれませんでしたが、その言葉が迷っていた気持ちを後押

してくれ、前に進めたのだと思います。

私の大切にしているもの

があつたことも知らず、平日はおとなしく嫁さんの買物や子供の送迎に愛車は付き合っているようです。

そなある日、嫁さんが私の愛車の側面をひどく擦つてきました。修理費も嵩みそうになりました。修理費も嵩みそうだし、買換えようかと言う話になりました。私も何となく「そうだな」と答えておきました。

その夜、ふと愛車のことでもが覚めました。社会人になって初めて買った新車。親の書に押印する実印もこのため作りました。そしてこの車は私の人生の節目には必ずそばにいてくれました。

たとえば、嫁さんにプロポーズしたのもこの車の中でした。たし、私達の結婚式や新婚旅行の送迎、新居への引越しと活躍してくれました。



独身時代の出来事は、俺とお前だけの思い出としてしまっておこう。





水谷 美保子

冠雪の富士に祈りの
鐘を撞く
華やぎも愁ひも絶めし
冬桜
綿虫のついと消えたる
虚空かな



せりざわきみよ

奥入瀬の木々の茂りは空を閉ぢ
ひたすら水の響きてくだる
ゴンドラの窓よりみればはるかにも
さびたの花の霧にまぎるる
夕もや青き八甲田に入る

結婚してまだ三年で「我が家のかの味」という原稿を書くのはいかがなものかと思いつつも、妻の手料理について書いてみたいと思います。

今回紹介致しますのは、「特製? パエリア」です。現在、妻の料理の中では私がはまっている一品であり、今回もリクエストしてもらいました。一緒に写っているのはにんじんサラダと魚介のスープです。カレー風味のパエリアは、具

富士峰建設(株)
長岡重弘

も多く栄養満点であり、私が誉めるのもなんですが結構美味しくビールが進みます。結婚前に趣味で料理教室に通っていたのですが、まんざら嘘では無さそうです。

今私の好みのレパートリーの一つとして、食卓を賑わせております。



先月、掛川に知り合いが住んでいた関係で掛川大祭を見にいってきた。祭りといえば東部に住んでいた自分にとって、花火を見て夜店の間をぶらぶら流すというスタイルが身にしみついている。そのような感覚で「見にいく」と違うのだ。何が違うのか? まず、自分たちの町名のはいった半纏に地下足袋姿の人達が町を闊歩している。年頃の娘さん達も喧嘩結びの鉢巻をきりりと締め上げ、実に粋なものである。

メインは夜の祭り屋台で、各町内で何千万円もかけて作られた屋台を引いて市内を練り歩く。にぎやかなお囃子のながれ、ライトアップされた屋台が引かれていくのだが、屋台がすれ違うときはまた勇壮である。最初は町内間の穏やかな挨拶をしているのだろうが、双方が徐々にエキサイトしてしまってみ合いが始まる。ただし、殴り合いにはならず、双方の町内の名前がはいった提灯を高くかかげながらひた押しに押し合う文字通りの押し問答である。まわりにきいてみると、どちらが先に屋台を通過のか、あるいはどちらがどれほど道を譲るのかということです。必ずしもめることであります。押し問答が終わると(おそらくは押し問答に勝ったほうの町内の)屋台が誇らしげに、まわりを威圧するかのようにひかれしていく。

どの町内も自分の町内の屋台(各町内の神様が乗つているのだ)が一番大事なのであって、はなから相手の町内に対して譲ろうとは思っていない。知り合いもこのもみ合いで参加していたのだが、ひるむ気配は全くないし、むしろ誇らしげに喜び勇んでもみあいに飛び込んでいく。

そのような彼らに対してもう一度、自分があの祭りに対する想いを述べたい。自分が見た掛川大祭は非常に泥臭い。もつといえども、原始的であり土俗的な昔ながらのお祭りである。しかしながら、我々が失ってしまったものが多く残している祭りでもあると思うのである。



掛川大祭



歩いた屋台を引いて市内を練り歩く。にぎやかなお囃子のながれ、ライトアップされた屋台が引かれていくのだが、屋台がすれ違うときはまた勇壮である。最初は町内間の穏やかな挨拶をしているのだろうが、双方が徐々にエキサイトしてしまってみ合いが始まる。ただし、殴り合いにはならず、双方の町内の名前がはいった提灯を高くかかげながらひた押しに押し合う文字通りの押し問答である。まわりにきいてみると、どちらが先に屋台を通過のか、あるいはどちらがどれほど道を譲るのかということです。必ずしもめることであります。押し問答が終わると(おそらくは押し問答に勝ったほうの町内の)屋台が誇らしげに、まわりを威圧するかのようにひかれしていく。

どの町内も自分の町内の屋台(各町内の神様が乗つているのだ)が一番大事なのであって、はなから相手の町内に対して譲ろうとは思っていない。知り合いもこのもみ合いで参加していたのだが、ひるむ気配は全くないし、むしろ誇らしげに喜び勇んでもみあいに飛び込んでいく。

協会の動き

技術懇談会の開催



行副委員長兼土木舗装部会長の司会のもとに、当協会会員より事前に提起のあった施工、より技術諸問題について、土木事務所の皆様よりそれぞれ見解をいただくなど、実務に即した有意義な懇談を行った。出席者は、官公署・協会事務局を除き七十二名であった。

親子自然教室の開催

広報青年委員会（委員長林則夫）は、八月二十三日（木）「第十三回親子自然教室」を開催した。

好天に恵まれ、小学生九十

名・幼児二十九名・保護者七十五名・計一九七名の参加者

は、それぞれの市町からバス五台により、伊豆市徳永の「コマツテクノセンター」に向かい、働く建設機械の説明やショーや見学した後、熱海市伊豆山の「姫の沢公園」に移動し、昼食や自由散策など有意義な一日を過ごした。

田代検査監より「平成十七年度公共工事の検査結果について（総評）」などについて講話をいただいた後、植松弘を開催した。

田代検査監より「平成十七年度公共工事の検査結果について（総評）」などについて講話をいただいた後、植松弘

しにしている方々も多く、当協会の社会貢献事業の目的である建設業に対する理解を更に深めていただく事業となっている。

なお、当日朝のNHKテレビ「県内のきょうの動き」をはじめ、新聞各紙において当教室の開催について報道していただいた。

合同安全パトロールの実施

安全委員会（委員長高田弘之）は、九月十三日（木）午前九時三十分より「平成十八年度第一回沼津土木事務所建設工事安全パトロール」に、沼津労働基準監督署日吉浩第二課長と共に正副委員長五名が参加した。

沼津地区「平成十七年度（主）沼津インター線緊急地方道路改築工事（Iランプ橋下部工）」他二箇所・長泉地区一箇所・計四箇所のパトロールを実施し、終了後当協会において各々の工事現場について講評を行った。

沼津地区「平成十七年度（主）沼津インター線緊急地方道路改築工事（Iランプ橋下部工）」他二箇所・長泉地区一箇所・計四箇所のパトロールを実施し、終了後当協会において各々の工事現場について講評を行った。

ソフトボール大会の開催



台風十三号と秋雨前線の影響が心配されたが幸い好天に恵まれ、選手・役員・応援合わせて一三六名が参加し、熱戦を繰り広げるとともに会員相互の親睦を深めた。

結果は、優勝・裾野地区チーム・準優勝・御殿場地区チーム・三位・沼津地区チームであった。





農地森林技術 研修会の開催

技術委員会（委員長土佐谷和貴）は、九月二十二日（金）午後二時より当協会大会議室において、東部農林事務所より遠藤徳良所長、山崎隆祥・大塚亜弥彦検査監のご出席をいただき、「平成十八年度農地森林技術研修会」を開催した。

遠藤所長より「企業の農業参入について」と題して講話をいただいた後研修に移り、「農林土木工事施工上の留意点」として、山崎検査監より「施工計画書について」・大塚検査監より「工事検査における着眼点について」と題して、パワーポイントを使用した分かり易い講義をしていた。また、現場代理人をはじめとする受講者にとって実りの多い研修会となつた。

出席者は、官公署・協会事務局を除き五十二名であつた。



史に触れ、名古屋港においては南極観測船ふじを見学した。翌日は、岐阜の長良川を見下ろす金華山の岐阜城跡を見学し、又美濃加茂市にある日本昭和村へ行き、昭和三十年代にタイムスリップするなど有意義な研修旅行となつた。

広報青年委員会 研修旅行の実施



安全標語

○小さな確認 大きな安全 みんなでできる 事故防止
○一人一人で心がけ みんなでできる 事故防止

伊倉 真也
(株)佐藤建設
渡辺 健弘 東京配電工事(株)沼津支店
ノリタケの森では陶器の歴史を行った。

広報青年委員会（委員長林則夫）は、委員十名が参加して九月八・九日の両日研修旅行を行つた。

一行は、バスにて名古屋に入り、ノリタケの森・名古屋港へと訪れた。

作業主任者等養成講習会の開催

(平成18年10月6日現在・単位：人)

講習会名	開催日	受講者数	修了者数
足場組立等	5.25～26	70	70
足場組立等	5.30～31	41	41
型枠支保工組立等	6.15～16	44	44
地山掘削・土止支保工	7.5～7	53	53
職長・安全衛生責任者教育	7.31～8.1	37	37
職長・安全衛生責任者教育	8.9～10	44	44
木造建築物組立等	9.7～8	39	39
現場管理者統括管理講習	10.6	43	43
		371	371